

岩手県立大槌高等学校（地域探究科）
「いわて留学」（県外募集）要項

1 目的

大槌高校では、令和元年度から文部科学省より地域協働推進校に指定され、地域を舞台に特色あるカリキュラムで学ぶことができるよう整備してきた。また、昨年度からは新たに、文部科学省より「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の指定を受けている。大槌を中心とした地域は、豊かな自然や東日本大震災津波からの復興、日本の抱える課題の先進地域であることから、県外の生徒にとっても非常に優良な学習の場になると考えるため、本取組を行う。

2 大槌高等学校（地域探究科）について

(1) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

よりよい社会づくりに貢献できる人を育てるため、次のような人を求めている。

- ・ 互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒
- ・ 自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒
- ・ 将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒
- ・ 部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒
- ・ 大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒

(2) 地域との連携体制

ア 連携先：大槌町、大槌町の地元企業及び中学校等で構成される「大槌町魅力化構想会議」

イ 具体的な取組

- ・ 学校設定教科である「三陸みらい探究」を3年間学び、自らが設定した地域課題の解決に向けたプロジェクトを実行する中で学びを深める探究活動を行っている。
- ・ まちの復興・未来を考え、提案する生徒の自主活動である「復興研究会」や東京大学大気海洋研究所で海の学びを深める「はま研究会」の活動を行っている。
- ・ 進路について専門的な指導・助言ができる魅力化推進員が、生徒の学校生活を手厚くサポートしている。

3 入学後の居住環境等について

(1) 住居の状況

下宿

(2) 食事の提供予定

平日5日（朝、夕＋昼弁当）、土日は応相談

(3) 通学方法（通学にかかる時間）

バスと徒歩（約25分）

(4) 費用について（学校の諸経費や通学に係る費用は除く）

下宿代4～6万円程度（光熱費別）

(5) サポート体制

学校と町が連携して生徒の学習・生活を支援する。また、緊急時に対応する担当者を配置する。

4 募集定員

5名

5 志願及び受検にあたっての留意事項

- (1) 出願にあたっては、必ず志願者本人及び保護者が事前に学校を見学し、入学後の学習環境や居住環境についての説明を受けること。
- (2) 出願の手続は「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によること。
- (3) 岩手県及び他県の公立高等学校を併願できないこと。
- (4) 一般入学者選抜への出願となること。

6 問合せ先（令和6年度入学者選抜について）

岩手県立大槌高等学校 担当者 副校長：竿代愛也

（電話：0193-42-3025 F A X：0193-42-4966）